



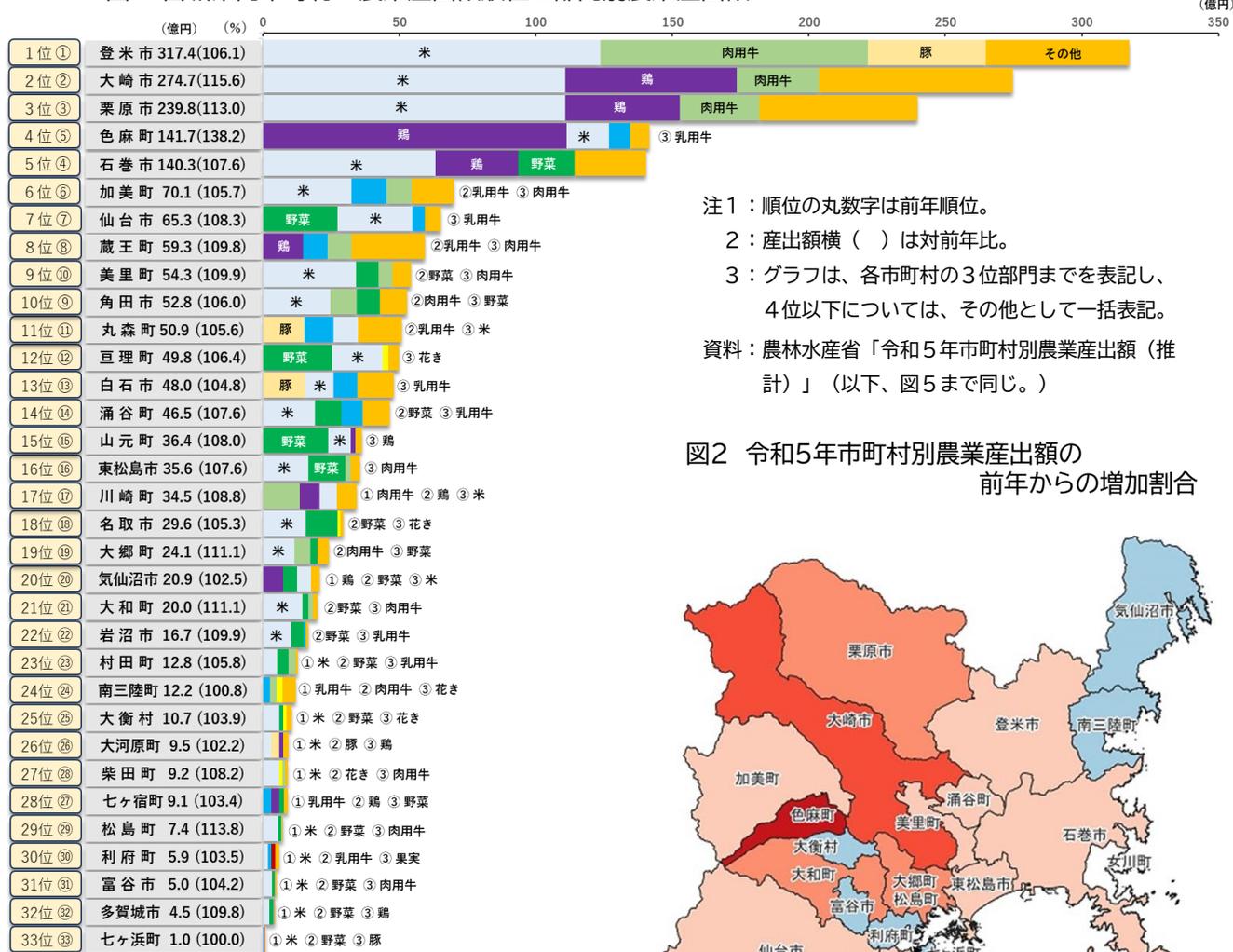
テーマは「市町村別農業産出額（推計）」（令和5年）

宮城県内における市町村別の農業産出額は、32市町村で増加

令和5年の宮城県内市町村別の農業産出額は、前年と比較して米や畜産部門の価格上昇等により、32市町村で増加しました。

市町村順位については1位登米市、2位大崎市、3位栗原市と前年と同じでしたが、色麻町が4位、石巻市が5位と順位の入れ替えがありました（図1）。

図1 宮城県内市町村の農業産出額順位と部門別農業産出額



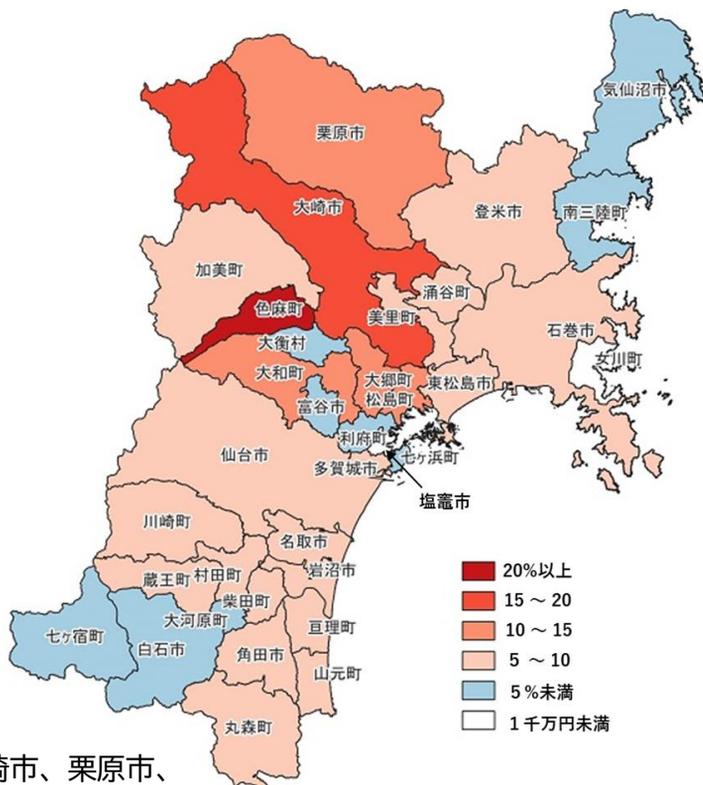
注1：順位の丸数字は前年順位。

注2：産出額横（ ）は対前年比。

注3：グラフは、各市町村の3位部門までを表記し、4位以下については、その他として一括表記。

資料：農林水産省「令和5年市町村別農業産出額（推計）」（以下、図5まで同じ。）

図2 令和5年市町村別農業産出額の前年からの増加割合



市町村別の農業産出額増加割合

宮城県内市町村において、令和5年の農業産出額の増加割合が一番大きな市町村は、鶏（鶏卵・ブロイラー）部門の産出額の大きい色麻町で前年比38%の増加となっています。

また、10%以上増加した市町村は、大崎市、栗原市、松島町、大郷町、大和町となっています（図2）。

市町村別農業産出額の1位部門(令和5年)

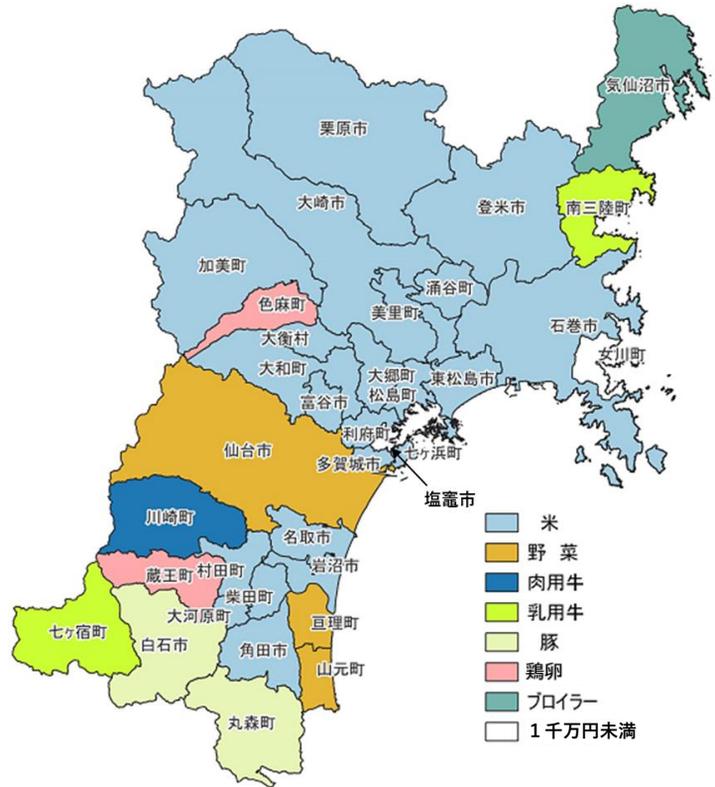
○宮城県内35市町村における令和5年の農業産出額1位部門・品目については、米、鶏卵等の価格上昇や子牛価格の下落等の影響により以下のとおりとなりました。

○米が1位の市町村は22市町村、野菜が1位となっている市町村は、仙台市、亶理町、山元町の3市町となっています。

○畜産部門が1位となっている市町村は8市町となり、内訳は、肉用牛が川崎町の1町、乳用牛が七ヶ宿町、南三陸町の2町、豚が白石市、丸森町の2市町、鶏卵が蔵王町、色麻町の2町、ブロイラーが気仙沼市の1市となっています。

○塩竈市、女川町については、産出額1千万円未満の市町となっています(図3)。

図3 市町村別農業産出額の1位部門



参考：東北農政局HP「令和5年市町村別農業産出額(推計)データベース」

(https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/deta/gaku_R5.html)

耕種・畜産部門別の上位10市町村の産出額と県内占有率

耕種

北部地区の3市が3位まで独占。米の産出額が大きい市町村が上位を占める中、野菜の産出額の大きい仙台市(5位)、亶理町(7位)、山元町(10位)がランクインしています(図4)。

畜産

北部地区の4市町が4位まで独占。1位の登米市は肉用牛が産出額のトップですが、2位から6位までは、鶏(鶏卵)の産出額がトップの市町村が並ぶ結果となりました(図5)。

図4 耕種部門市町村別農業産出額

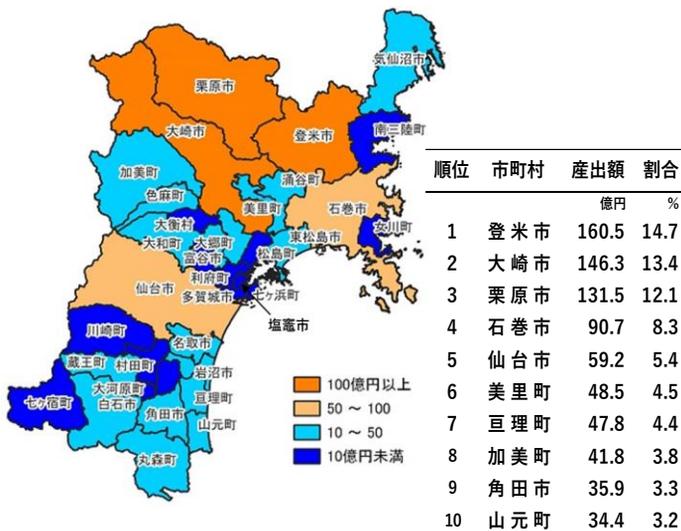


図5 畜産部門市町村別農業産出額

